

2020 年 10 月 19 日

報道関係者各位

株式会社タクマ
株式会社竹中工務店

タクマビル新館(研修センター)が竣工

＝ 西日本初の燃エンウッド 2 時間耐火集成木材を適用した木造ハイブリッド免震建築 ＝

株式会社タクマ(代表取締役社長:南條博昭、以下 タクマ)が本社社屋で実施している各種プラントの遠隔監視・運転支援機能(Solution Lab)の更なる拡充および、社員の育成・能力開発の充実を目的に建設を進めていたタクマビル新館(研修センター)が、株式会社竹中工務店(代表取締役社長:佐々木正人、以下 竹中工務店)の設計施工により 10 月 19 日に竣工しました。

建物名称:タクマビル新館(研修センター)

所在地:兵庫県尼崎市金楽寺町2丁目2番33号(本社敷地内)

延床面積:3,334.35m²

設計施工:株式会社竹中工務店

備考:「平成 30 年度サステナブル建築物等先導事業(木造先導型):国土交通省」に採択



池に浮かぶタクマビル新館



木のあらし技術を採用したオフィス空間

本施設は、免震構造と西日本で初採用となる竹中工務店が開発した2時間耐火集成木材の燃エンウッド®の他、CLT(Cross Laminated Timber:直交集成材)耐震壁+鉄骨ハイブリッド構造を組み合わせた6階建ての木造ハイブリッド免震建築です。接道側に配した燃エンウッドと外装ダブルスキinkerテンウォールのマリオンに採用した集成材が、建物外観で木造建築をアピールしています。建物内部では、燃エンウッドと CLT 耐震壁のあらし利用のほか、積極的に内装仕上げに木材を利用し、木の温もりに囲まれた落ち着いた職場環境の創出を実現しました。(詳細については、別紙「木造ハイブリッド建築技術の概要」を参照)

サステナブルな拠点づくりが求められている昨今、タクマグループでは Solution Lab や人材開発施設の拡充に係る新拠点の整備に際して、再生可能エネルギー分野とつながりが深く、林業の持続可能な成長に貢献できる木造建築を採用し建設しました。また、通常はオフィスとして使用しますが、災害時には防災拠点としての機能を活用することで、地域のレジリエンス向上にも貢献します。

本施設を通じて、プラントの遠隔監視・運転支援や人材の能力開発に加え、グループ内外の人々による活発な議論や自由な発想を促進する場を構築することで、お客様や社会の課題を解決する新たな技術やサービスの創造を目指します。

これからもタクマグループは、再生可能エネルギーの活用と環境保全の分野を中心に、リーディングカンパニーとして価値のある製品やサービスのご提供を通じ、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。

< 報道関係者お問合せ先 >

株式会社タクマ	企画部	TEL:06-6483-2602
株式会社竹中工務店	広報部	TEL:06-6263-5605

■西日本初 燃エンウッド柱(2時間耐火)

防・耐火 作り易い 美

-
- 燃エンウッドの構成
- 燃エンウッド柱と鉄骨梁の取合い(新規)

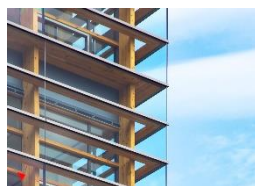
防・耐火 作り易い 強度/軽量

-

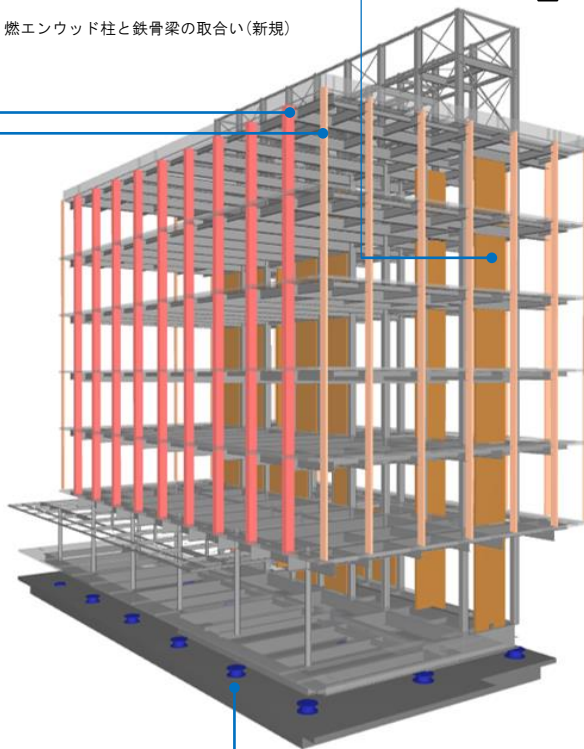
強度/輕量 美

-

強度試験の様子



外装のイメージ



強度/軽量

-

スマート免震柱脚

作り易い

- 防·耐火 美

-

耐火実験の様子

設置されたCLT

1階ロビーの内観

美

-
- A photograph of a modern building with a glass facade and a swimming pool. The building has a distinctive design with a glass curtain wall and a flat roof. A swimming pool is visible in the foreground, and a paved area is in front of the building. The sky is blue with some clouds.